

**博士課程教育リーディングプログラム  
平成26年度プログラム実施状況報告書**

採択年度	平成23年度		
申請大学名	東京工業大学	申請大学長名	三島 良直
申請類型	複合領域型（生命健康）	プログラム責任者名	関根 光雄
整理番号	C03	プログラムコーディネーター名	秋山 泰
プログラム名	情報生命博士教育院		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラム「情報生命博士教育院 ～ 情報科学を使いこなせる生命健康イノベーションリーダーの養成」では、東京工業大学の130年にわたる専門教育の伝統と、様々な研究科を持つことによる総合力を最大限に活かして、21世紀の社会を支える生命健康科学の分野でグローバルなイノベーションを牽引できるリーダー人材の養成を行う。特に、生命科学の一流の専門家でありながら最新の情報科学を道具として使える人材、または情報科学の一流の専門家でありながら生命科学の方法論と思考を理解する人材を養成する。本学位プログラムで養成する博士は、主専門分野の深い専門性に加えて、副専門に関する基盤的な知識と実際的な問題解決経験を有する“Γ（ガンマ）型”人材となり、優れたコミュニケーション能力により他分野の専門家と協力して、新たな複合分野を開拓する実行力を持つことを目指している。我々が目指す改革のゴールは、情報生命分野の小さな専攻を一つ作るのではなく、本学の持つ生命系と情報系の教育を縦系と横系として臨機応変に組み合わせることのできる、柔軟な教育機構の構築である。

## 2. プログラムの進捗状況

- 学内規程の整備 平成23年12月7日付で「情報生命博士教育院」が学内組織として発足し、「東京工業大学情報生命博士教育院規則」が施行された。また、大学院学則に「東京工業大学情報生命博士教育課程規程」(平成24年4月1日施行)を定め、正式な教育課程として学位プログラムを開始した。
- カリキュラムの整備 平成26年度は、4つの科目群の合計で52科目を開講した。
- 学生の選抜 平成26年度は23名が新たに課程参加。平成24年度からの累計では、10専攻から選抜試験を経て計99名の学生が課程参加、現在74名の学生が在籍中である。
- 学生説明会・広報 平成26年度も学生説明会を開催した。これまでに、学内・国内に加えて、米国、マレーシア、タイ、ベトナム、韓国、中国、台湾等で学生募集説明会を開催し、入学者を得た。また、広報では従来から発行していたニューズレター等に加え、本年度は、新聞・雑誌等のマスメディア上でのプログラム成果の広報に特に力を入れた。
- 特任教員雇用 平成26年度は、キャリア教育やグローバルリーダーに必要な人格教育を強化するため、「生命倫理特論」、「ベンチャー起業特論」、およびキャリア教育を担当する教員を新たに1名雇用した。本年度までの累計として「グループ型問題解決演習第一・第二」、「分子シミュレーション演習」、等を担当する12名の特任教員と、4名の異文化コミュニケーション科目担当教員を雇用した。
- キャリア教育の充実 平成26年度より、新たな試みとして産業界若手メンター制度による対話型キャリア指導である「メンターとの夕べ」を開始した。また、国際機関・グローバル企業で活躍する博士人材を講師として招聘した「グローバル・キャリアセミナー」の定期開催を開始した。
- 学修環境構築 当教育院独自の演習・授業を担保するため、J3新棟を中心に環境を整備済み。平成26年度は両キャンパス間に遠隔講義システムを拡充した。
- 奨励金 奨励金要項を学内で制定し、平成24年4月1日から課程所属学生の一部に奨励金支給を開始した。平成26年度は48名に支給。また本年度は奨励金審査において新たにSSランクを設け、SS、S、A、B、Cの5段階に拡張した。
- 国際夏の学校 平成24年9月3日～5日に湘南国際村で開催し、海外5ヶ国の大学院生を含めた52名の学生を中心に90名が参加。平成25年9月9日～13日にImperial College London (イギリス)で開催し、海外3ヶ国の大学院生を含めた54名の学生を中心に76名が参加。平成26年度は、これまでの経験および構築されたネットワークを十分に活用し、平成26年8月13日～19日にPurdue University (アメリカ)で開催し、海外2ヶ国の大学院生を含めた50名の学生を中心に66名が参加。
- 国際シンポジウム 平成25年1月30日に“Biomolecular Assemblies from Nano to Micro”をテーマに開催。平成26年1月29日“The Nucleic Acid World - Interfaces between Biology and Chemistry -”をテーマに開催。平成26年度は、これまでの経験および構築されたネットワークを十分に活用し、平成27年1月14日に“ Innovative approaches to biological systems: light, motion, and small molecules ”をテーマにすずかけ台キャンパスで開催し、209名が参加。